

このたびは、「FAX見張隊」（以下、本装置）をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。
本装置は、アナログ公衆回線または、アナログ内線回線とFAX(複合機)の間に結線し、FAXおよび電話の着信をフラッシュとベル音で通知する機能を有しております。この説明書を良くお読みいただき、本装置の機能を十分発揮できるように正しく取り扱い、運用いただきますようお願い申し上げます。この説明書は付属品と共に大切に保管してください。

本装置は、アナログ回線専用です。
次のような回線には接続できません。
・ISDN回線 ・NTTのアナログ回線仕様と準拠していない回線（一部TAなど）
・F網(1300Hz無鳴動着信) ・デジタル方式の構内交換機(PBX)

【ご使用上の注意】
・本装置及び付属品の使用により生じた金銭上の障害発生損失又は第三者からのいかなる請求についても当社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
・本装置及び付属品は、改良の為予告なしに変更することがあります。
・本装置の故障、誤動作、不具合あるいは災害・事故等の外部要因によって、通話の機会を逸したため生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
・人身及び物損事故につきましては、本装置の使用、不使用を問わず、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本書の内容については、改良のため将来予告なしに変更することがあります。

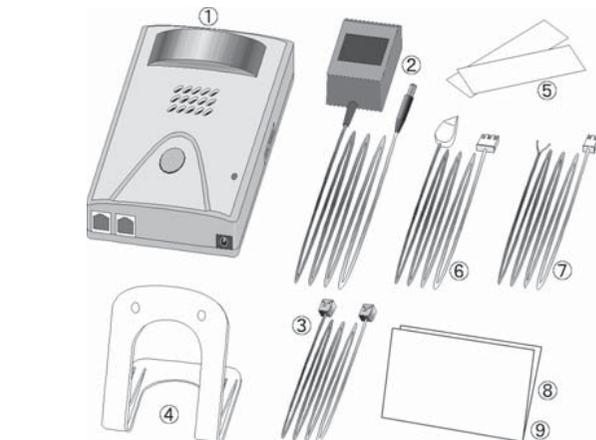
1. ご使用になる前に

1-1. 注意事項

- 設置場所について
次の場所には、設置しないでください。火災・感電の原因となります。
●湿度の高い場所 ●火気のそば ●高温・多湿の場所 ●油飛びや湯気が当たるような場所
●不安定な場所
本装置を正常に、また安全に使用していただくため、次のようなところへの設置は避けてください。
・ほこりが多い場所 ・極度に振動が激しい場所 ・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
・強い磁界を発生する装置などが近くにある場所 ・多湿の場所 ・極度に高温になる場所
- 使用について
●万一、発煙、臭気する等の異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐにACアダプタをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから、ご購入店が弊社に修理をご依頼ください。
●電源ケーブルが傷んだ状態（芯線の露出・断線等）のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐにACアダプタをコンセントから抜いて、ご購入店が弊社に修理をご依頼ください。
●AC100V 家庭用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。
●専用のACアダプタ以外は、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。
●ぬれた手でACアダプタを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
●本装置を分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。
●本装置に水が入ったり、ぬらさぬよう、および異物が入らないようご注意ください。
●激しい雷が予想されるときは、あらかじめ、ACアダプタをコンセントから抜いてください。
雷が発生した際は、感電のおそれがあるので、ACアダプタおよびモジュラーケーブルに触れないようにしてください。
●コンセントとソケットの間のほこりは、定期的に（半年に1回程度）に取り除いてください。

1-2. 商品構成

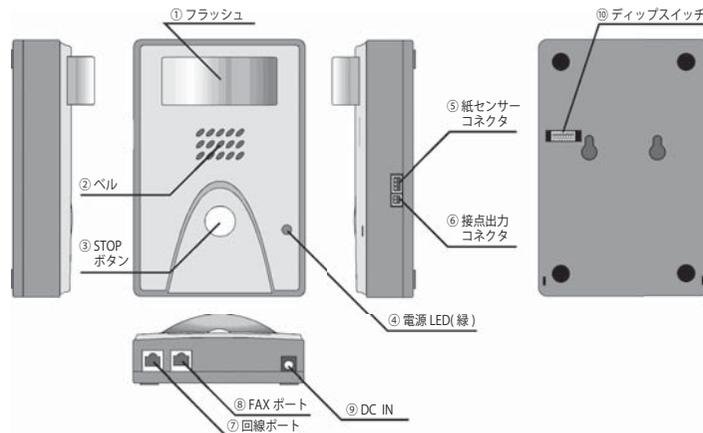
ご使用いただく前に、次の物が全部そろっているか確認してください。
万一、欠品の場合は、お手数ですがお買い上げの販売店または、弊社（裏面に記載）までご連絡ください。



① FAX見張隊 本体	1台	⑥ 紙センサー	1個（長さ：約2m）
② ACアダプタ	1個（長さ：約1.8m）	⑦ 接点出力ケーブル	1本（長さ：約1m）
③ モジュラーケーブル	1本（長さ：約1.8m）	⑧ 取扱説明書・工事説明書	1部（本書）
④ 設置用スタンド	1個	⑨ 保証書	1枚（本書内巻末）
⑤ 設置用マジックテープ	2枚（長さ：約5cm）		（取扱説明書・工事説明書内）

2. 本装置を使用するための準備

2-1. 各部の名称

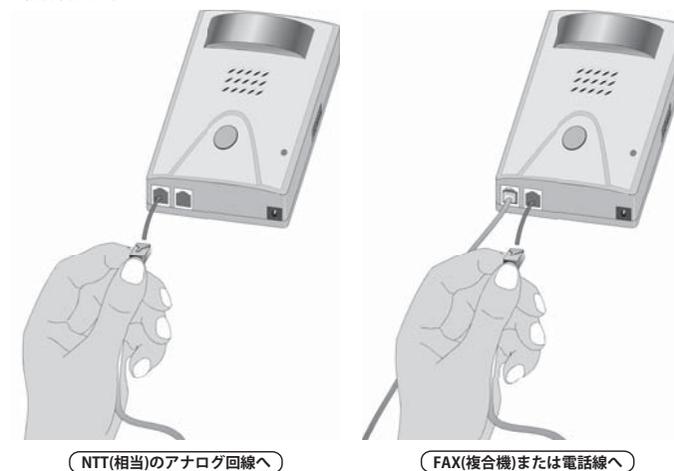


① フラッシュ	着信を通知するとき点滅します。
② ベル	着信通知時および、異常発生時に鳴動します。
③ STOPボタン	ベル&フラッシュ鳴動を停止させたい時に押下します。
④ 電源LED(緑)	本装置動作中に点灯します。
⑤ 紙センサーコネクタ	本装置付属の紙センサーを接続する端子です。
⑥ 接点出力コネクタ	本装置付属の接点出力ケーブルを接続する端子です。
⑦ 回線ポート	NTT(相当)のアナログ回線を収容します。 主装置(PBX)配下のアナログ内線相当回線を収容します。
⑧ FAXポート	FAX(複合機)または電話機へのモジュラーケーブルを接続します。
⑨ DC IN	付属のACアダプタを接続します。
⑩ ディップスイッチ	本装置の動作設定を行います。

2-2. 設定メニューの表示方法

本体の「回線」ポートへ、NTT(相当)アナログ回線を接続します。
内線設置の場合は、主装置(PBX)の内線側からのモジュラーケーブルを接続します。
※本装置を排出紙監視モードで運用する場合は、接続不要です。

本体の「FAX」ポートへ、FAX(複合機)または電話機へのモジュラーケーブル(本製品に同梱)を接続します。
※本装置を排出紙監視モードで運用する場合は、接続不要です。



【注意】「FAX」ポートと「回線」ポートに接続するケーブルを誤って逆にすると、本装置が破損する可能性があります。

2-3. 紙センサーの接続

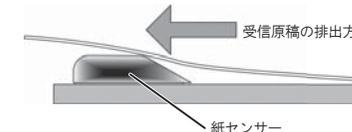
本装置の紙センサーコネクタに、紙センサーケーブルを接続します。
※紙センサーケーブルの延長はできません。
※紙センサーを使用しない場合、接続は不要です。



紙センサー部分を、FAXの受信原稿排出トレイにセットします。

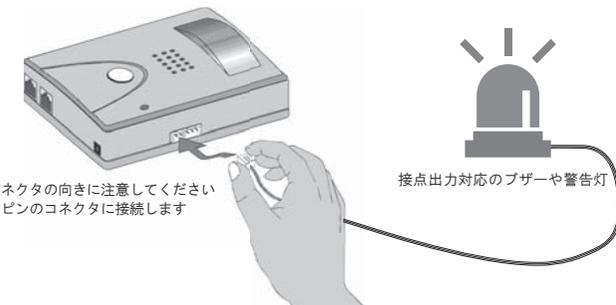


紙センサーの先端部を、受信原稿の排出部に正対するように取り付けてください。
誤った取り付けを行うと、紙詰まりの原因になるので注意してください。



2-4. 接点出力ケーブルの接続

本装置の接点出力コネクタに、接点出力ケーブルを接続して、接点出力対応のブザーや警告灯(お客様がご用意)をご利用いただけます。
※接点出力機能を使用して、外部装置と連動させない場合、接続は不要です。



接点出力は、本装置のベル音に連動して出力されます。
紙センサーのみでご使用の場合は、ご使用いただけません。

